

あすなろ

発行：北海道障害者団体定期刊行物協会
細川 久美子
定価：100円

◇◆◇ 個人参加難病患者の会 ◇◆◇ 会報157号

- (1) 会長挨拶・・・・・・・・・・ 1 P
- (2) ソーシャルワーカーさんより・ 2
- (3) 札幌市難病医療講演会・・・・ 4
- (4) ips 網膜経過良好・・・・・・・・ 6
- (5) 大動脈炎症候群の会員の方々・ 7
- (6) よしなしごとをいろいろと・・・・ 8
- (7) 影法師より・・・・・・・・・・ 9
- (8) クリスマスパーティのお知らせ 10
- (9) チャリティバザーより・・・・ 11
- (10) お礼・お知らせ・お願い・・・・ 12



お見舞い申し上げます

今年は夏の異常な湿度、各地で大雨、土砂崩れ、地震、噴火、竜巻、台風、など

大変なことが多くありました。

会の皆様、会に繋がる皆様にお見舞い申し上げます。

自然を大切にして、自分たちの命を大切にして、精一杯の努力をして
まいりましょう。

もうすぐ厳しい冬の到来です。ガンバッテ、ガンバッテ、ご一緒に。



会長挨拶

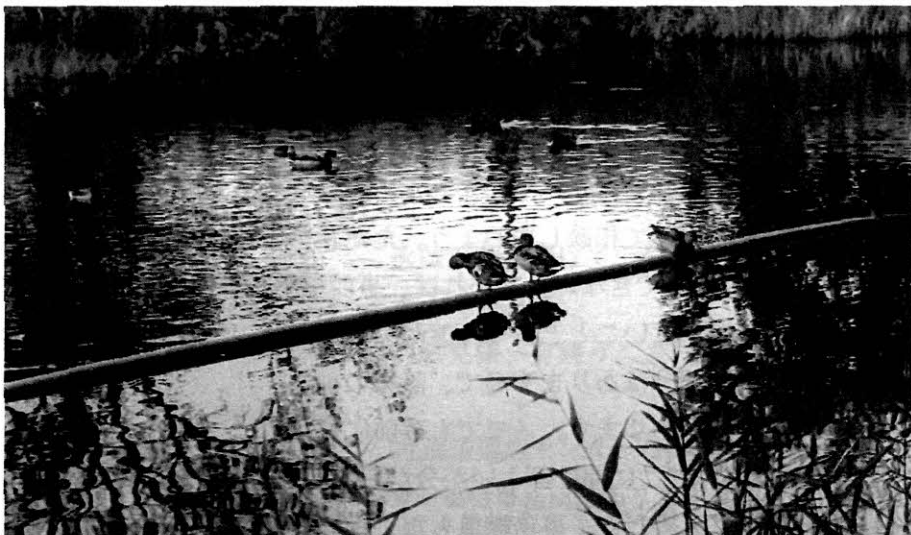
森 浩幸

みなさん こんにちは。毎年恒例の難病連チャリティーバザーに参加された皆さんお疲れ様でした。今年も24日(土)のみの開催でしたが多くのお客様が来店され大好評でした。翌25日(日)は後片付けが行われました。午後より霰が降りおまけに風も出てきて吹雪状態でした。

皆さんのお住まいの天候はどうでしたか？これから寒く長い冬が来ると思うと健康管理にも気を使う必要が出てきて特に寒さに弱い患者の皆様にとっては厳しい時期となりますのでくれぐれもご自愛ください。

さて、話は変わりますが北海道の秋は他の都府県よりも早くやってきます。先日近くの公園で紅葉の写真を撮をとってきました。ファインダーを覗きシャッターを切り画像を確認し設定を色々に変え、またファインダーを覗きシャッターを切るといった動作を繰り返し何枚も写真を撮りました。まだまだ納得のいく写真は撮れませんが…ファインダーを覗き写真を撮っているとそれだけに集中できストレスを発散できます。

翌日のテレビで戦場カメラマンがでてファインダーを覗いていると恐怖心がなくなると言っているのを聞き少しは理解ができるように思いました。みなさんも病気を抱え毎日つらい思いをしていると思いますが、少しでも自分の楽しみを見つけ、それに集中して少しでも病気のことを忘れる瞬間を持つことができ、これからも病気と闘って行こうと思える気持ちを持つことが出来ればいいと思います。



あすなろ会の皆様へ

社会医療法人 嶺心会 岩内 敏 晃
一社) 北海道医療ソーシャルワーカー協会 事務局長

10月4日、皆様の交流会にお招きいただき医療ソーシャルワーカーや病院について、少しお話をさせていただきました。その時の内容に、お話できなかった事も少し加えて報告させていただきます。

北海道医療ソーシャルワーカー協会は、会員が900名を超え、私が入会した十数年前に比べて10倍の規模になっております。それだけ、全道の各医療機関に医療ソーシャルワーカーが配置され、多くの患者さんの支援に携わることができるようになった事をうれしく思います。当協会としては、新人からベテランまでソーシャルワーカーとしての質を担保する為、様々な研修を継続しております。然しながら、まだまだ医療機関によって業務にバラつきがあり、当協会の会員ではない医療ソーシャルワーカーも数多い事から「どの病院のソーシャルワーカーに相談しても同様に対応してくれる」となるにはまだまだ遠い状況です。ただ、様々な不安や悩みを抱える患者さんの、1番最初の相談窓口である事はどの医療機関でも変わらない我々の基本です。

通院中の皆様がお気づきの通り、この十数年で医療機関は大きく様変わりしています。簡単にお話ししますと、国が病院の機能を分化したために、かかりつけの病院で何から何まですべて相談できなくなった感じはありませんでしょうか？「うちは〇〇科だから、△△の事を聞かれても分からない」、「〇〇で1週間入院です。△△？それは退院してから別の病院で診てもらってください」など、体験された事はありませんか？決して医療機関が冷たくなった訳ではありません、国が勧める通りに運営しないと病院も倒産する時代なのです。でも、正直、昔を知っている私は患者さんに寄り添えなくなった感じがしてさみしく思います。

現在、多くの患者さんは様変わりする病院にどう通院したらよいのか？疑問や不安をどう相談したらいいのか？日々悩まれていると思います。私はそんな時に大事なことは、声を出す事だと思います。5分間診療と揶揄される機械的な外来診察に圧倒され、「こんな事を言ったら先生は気分を害すのでは？」と遠慮され、「今日も言えなかった」と帰宅される・・・こんな経験はありませんか？もしかしたら、毎回かもしれません。何も遠慮はいりません、積極的に声を出して相談しましょう。ただ、ちょっとした工夫もしてみよう。「診察の時にうまく説明できない」であれば、事前に箇条書きでよいのでメモしていき看護師さんに先生に聞きたいことと言って渡しておきましょう。医師もどうしてもスケジュールに追われている部分はありますので、診察の場面でひとつひとつ親身に聞きたいと思ってもできない部分はあります。メモでも事前に分かれば、医師も説明しやすいと思います。「この事を病院のどこに聞けばよいか分からない」であれば、事前に病院に電話してみましょう。窓口直接だと、事務職員もたくさんの患者さんの中で判断がつかなく

結果としてタライ回しになる場合もあります。ですので、事前に病院に電話し「障害年金について相談したい場合はどちらに伺うとよろしいですか？予約が必要ですか？」と問い合わせしましょう。これだけでも、かなりスムーズになります。

そして、何よりもソーシャルワーカーを頼って下さい。通院先のソーシャルワーカーがたとえ新人であっても、一生懸命相談にのります。ささいな事でも結構です。よく「自分の中でも整理がつかずどう相談してよいか分からない」とお聞きしますが、それでいいのです。悩まれていること、不安に感じていること、一緒に整理していくこともソーシャルワーカーの役割です。どうしても、病院ですので医師も看護師も「治療」が優先されます。しかし、私もそうですが、「治療」の前に「生活」があります。親が、子供が、仕事、と様々な生活の都合があります。その生活の都合を一緒に考え、安心して治療を受けていただけるようにお手伝いするのがソーシャルワーカーです。

前述の様に、ソーシャルワーカーの知識や技術にバラつきがあり、相談内容の得手不得手もあり相談してみてガッカリされた事もあるかもしれません。また、相談をしても病気や症状によって制度の狭間となり、形のある手助けをできない事もあります。しかし、1人で悩まれるより何かしらの解決の糸口が見つかる可能性が広がります。

話し言葉も入り混じり、乱雑な文で申し訳ありませんでした。今回、このような機会をいただき、医療ソーシャルワーカーの認知度もまだまだだと痛感しました。是非、またお声かけ下さい。

10月4日の様子から

集まったのは10名という少なさでした。しかし、それが反って幸いしたかもしれません。岩内さんの温かい雰囲気誘われるように、ポツリ、ポツリと言い出しまして、何を言いたいかを汲んだ岩内さんが分りやすいお言葉でお話ししてくださるという打ち解けたものになりました。

勿論、制度の壁など大きな問題があっても、いくら解決したいと考えても…でも、「一緒に考えてみましょう」と仰る様子がとても嬉しいことでした。

参加した方からのアンケートでも、また医療ソーシャルワーカーさんとの交流の場を設けて欲しいという希望が多くだされました。

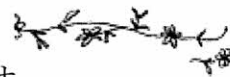


次は課題を設けて、分野に分けてということも出来そうです。

岩内敏晃様 有難うございました。

(北海道難病センター内に、北海道医療ソーシャルワーカー協会事務所があります。

電話・FAX011-563-7229、通じなければ会へ)



2015 年度第 3・4 回札幌市難病医療相談会のお知らせ

第 3 回 「重症乾癬の患者さんへーとくに膿疱性乾癬、乾癬性関節炎についてー」

日 時 2015 年 11 月 28 日（土）13 時 30 分～16 時 00 分

場 所 わくわくホリデーホール（札幌市民ホール）2 階

（札幌市中央区北 1 条西 1 丁目）

第 1 部＜医療・福祉 講演＞ 第 2 部＜個別相談一事前予約制＞に分けて行われます。

第 1 部の講演は上記表題により、講師 小林皮膚科クリニック 院長 小林 仁 先生をお迎えいたします。

参加費 無料

11 月 11 日から申し込み開始

参加者は難病連相談室へ（電話 011-512-3233 FAX011-512-4807）

定員 70 名になり次第、締切ります。

あすなろ会には乾癬の患者さんはいらっしゃいませんが、主疾病でなくても皮膚症状で乾癬を疑われる方や、主疾病により乾癬になる場合もあります。

心配な方は申し込んで参加されることをお勧めいたします。

第 4 回 「先天性代謝異常症について（仮）」

※「先天性代謝異常症」……フェニルケトン尿症、ウィルソン病、ライソゾーム病など

日 時 2016 年 1 月 31 日（日）13 時 00 分～16 時 00 分

場 所 北海道難病センター 3 階 大会議室

（札幌市中央区南 4 条西 10 丁目）

第 1 部＜医療・福祉 講演＞ 第 2 部＜個別相談一事前予約制＞に分けて行われます。

第 1 部の講演は上記表題により、講師 独立行政法人国立病院機構 北海道医療センター 長尾 雅悦 先生をお迎えいたします。

参加費 無料

1 月 12 日（火）から申し込み開始

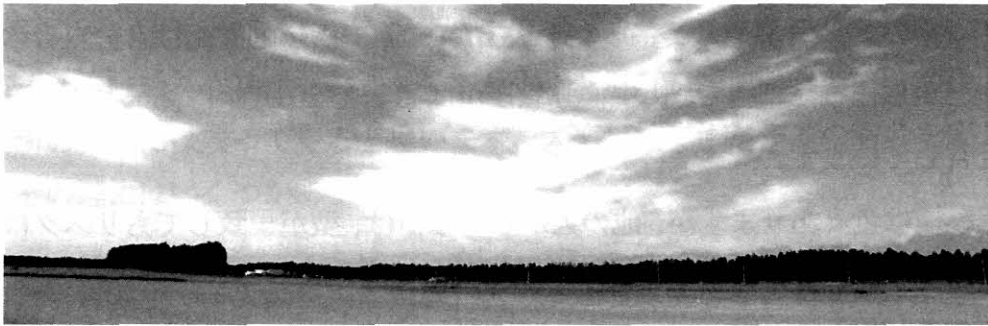
参加申込は難病連相談室へ（連絡先は上記に同じ）、定員 80 名になり次第、締め切ります。

患者会交流コーナー担当はあすなろ会です。

ここで少し目をやすめましょう。

ちょっと遠くを見て、窓の外には何が見えるでしょう。

木か葉っぱか(落ちてしまったかも)、もっと上に雲？明日は晴れるのでしょうか。



そして2～3回深呼吸もして、気分も変えて……さあ、次へ。

ips 網膜 経過良好（北海道新聞 10 月 2 日記事より）

理化学研究所と先端医療センター病院（神戸市）のチームは、2 日同市で記者会見し、人工多能性幹細胞（ips 細胞から作った網膜の細胞を、難病「浸出型加齢黄斑変性」を患う兵庫県の 70 代女性の目に移植した臨床研究について「実施から約 1 年経ったが経過は良好。がんなどの異常は確認されていない」と明らかにした。

ips 細胞から作った細胞を患者に移植する世界初の手術。

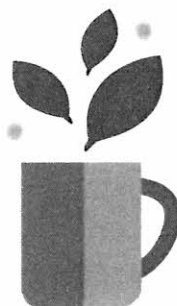
今回、一定の安全性が確認され、パーキンソン病やアルツハイマー病、心臓病などで今後の ips 細胞利用に弾みがつく可能性がある。……

以下省略いたしますが、ご存知の通り ips 細胞の画期的な面は自分自身の皮膚や血液などから作った細胞で、山中伸弥教授が開発して 2012 年にノーベル医学生理学賞を受賞しています。

臓器移植は色々ありますが、他の人からの移植は、型が一致してもリスクはあるし一生薬を飲まなければなりません。

ips 細胞の画期的な開発は多くの患者に希望を持たせてくれました。

これから様々な病気に応用されるよう研究が進むことを、患者として期待します。



大動脈炎症候群の会員の方々へ

今年より「大動脈炎症候群」という病名が「高安動脈炎」と変わりました。以前は「高安病」とか「脈なし病」と称されていた時期がありましたが、この度は何故かということが分りましたので、お伝えいたします。

あすなろ会の協力会員で京都にあけぼの会という患者会があります。その会報に掲載されておりました。

2014年11月30日に、東京医科歯科大学医学部附属病院循環器内科 磯部 光章 先生が講演されました。講演内容はあけぼの会により編集されておりますが、先生から一部転載のご承諾をいただくことが出来ましたので、ここにご紹介いたします。

* * * * *

“皆さん、多分、難病の「大動脈炎症候群」という病名が付けられていると思います。実は厚生労働省が来年、難病の診断基準や受給のシステムを変えるに当たって、病名を変えます。1月1日、厚生労働省の正式な文書には「高安動脈炎」として載ります。ただ、一気に大動脈炎症候群という名前をなくすと混乱が起きますので、多分、かつこ付けで役所の文書には残ってくると思います。大変恐縮ですが、この病名を変えたのは私です。その理由はいくつかあります。

一つ目は、世界中で「大動脈炎症候群」という病名は使っていません。

“Takayasu arteritis”「高安動脈炎」という名前で統一しています。

二つ目は、本来、この病気は大動脈だけが問題なのではなく、全身の病気だということです。しかし、医者はこの病名を見ると、大動脈にしか関心を払わないのです。炎症の主な場所は大動脈ですが、皮膚・腸・目・肺など、血管だけでなく、色々なところに炎症に関係する症状を起こします。心臓から出て上に行って弓なりに曲がって下に行く「大動脈」だけではないという意味もあります。

三つ目に、何よりも発見者に対する敬意を表すという意味があります。高安 右人（たかやす みきと）先生がこの病気を発見されたということです。病名を変えたことにご理解いただき、なじんでいただきたいと思います。”

* * * * *

（このように病名が変わった理由が分った病気もあります。他の病気も理由があって変わったのですが、ここには分ったことだけ載せました。）

秋の某日、紙聞の特集ワイドというタイトル付きの特集を読みました。又吉直樹さんの小説『火花』が芥川賞を受賞したことをキッカケに企画したもの。リードは「せっかく『火花』を読んだのなら、他の作品にも触れてはいかがだろう。秋の夜長を楽しめるお薦めの作品を、純文学を愛する人に紹介してもらった」とあります。

最初に登場するのは、日本近代文学が専門の早稲田大学の石原千秋教授です。先生は「これらを読めば純文学への理解が深まる」と前置きして、「近代文学史上画期的な意味がある」次の6作品を選んでくれました。

- ①夏目漱石(1867～1916)『こころ』、親友「K」を裏切り「お嬢さん」を得た「先生」が、「K」の自殺で苦悩する物語。「純文学はこの小説から生まれたと極論してもいいのではないかと先生はおっしゃっています。
- ②谷崎潤一郎(1886～1965)の『痴人の愛』、
- ③又吉さんも心酔している太宰 治(1909～1948)の『人間失格』、
- ④田中康夫(1956～)の『なんとなく、クリスタル』、
- ⑤村上春樹(1949～)の『風の歌を聴け』、
- ⑥吉本ばなな(1964～)の『キッチン』、

- ①は読んだ記憶があるけれどそれは高校時代だったかな？と、記憶もやや薄れ気味です。
- ②タイトルから誤解していたフシがあって読むのを忌避していたようです。
- ③大学の教養時代に読んで感激して、先輩に「君の年齢でこの小説が分かるはずがないぞ」と揶揄された記憶があります。
- ④も⑤も⑥も読んでいません。私のここ50年近い人生がどれほど感性貧困だったのか。会社に就職して社畜になって、仕事に(役立つ?)ハウツー物、それも新書版が中心。先生お薦めのいわゆる文学に接していたら、今ほど人間の幅が狭い年寄りにならずにすんだか。つくづく無為に近いここ50年間だったと赤面するしかありません。

次に登場するのは文学の専門家以外にも聞きたいと林野 宏さん。たいへん失礼ながら初めてお名前を目にする方です。大手クレジットカード会社の社長さんなのだそうです。

- ①一番のお薦めはとして三島由紀夫(1925～1970)の『潮騒』、伊勢湾の小島を舞台にした漁師の青年少女の純愛ストーリー。「芸術的な文章で情景がいかに目に浮かぶ。特に初恋の初々しさが魅力的。若い人にも味わって欲しい」と。
- ②三島作品はもうひとつ『春の雪～豊饒の海第一巻』、「日本語を操り素晴らしい描写をする。切り取って手元に置いておきたいような文章ですよ」と林野さん。
- ③、伊藤佐千夫(1864～1913)の『野菊の墓』、少年と二つ年上のいとこの少女との悲恋の物語。少女は少年と結ばれず気の進まぬ結婚をした結果、命を落とす。「娘の結婚式でも泣かなかったのに『野菊の墓』だけはかわいそうで泣いちゃうね」と林野さん。
- ④中島 敦(1909～1942)の『李陵』、漢の名将、李陵はわずかな兵で匈奴の大軍と果敢と戦い、最後には生け捕りにされる。そんな李陵を弁護した司馬遷は宮刑に処されたが、恥辱の中でも死を選ばず『史記』を書きあげた。「極限まで厳しい境遇におかれた男たちの生き様に圧倒される。自分はまだ及ばないと感じます」と現役社長の言葉に納得です。
- ⑤樋口一葉(1872～1896)の『たけくらべ』と武田泰淳(1912～1976)の『ひかりごけ』はリストにあるもののコメントなし。
- ①三島由紀夫はその天才ぶった印象が鼻にかかってやや敬遠気味でしたが、『潮騒』はなぜか読んでいました。刊行が1954年ですから私は高校3年生でした。
- ②『野菊の墓』は1906年刊行ですから、私が読んだのは文庫版だったでしょう。映画を見てから読んだような記憶がおぼろげにあります。
- ③『李陵』は失意のなかで出張することがあって、函館行きの鈍行列車の中で涙を流しながらいっ気に読み終えた記憶があります。

『李陵』は私の生涯で一番の愛読書です。今も私の書庫に色あせた『李陵』の背表紙が並んでいます。10回は読んだと思いますが、その都度新たな読後の思いがありました。読書環境とまったく異質な境遇で成長した私が、石原先生と林野社長の薦める小説のいくつかを読んでいたことを知って、少し安心そして大いに後悔です。

影法師より…変な失敗ばかりです

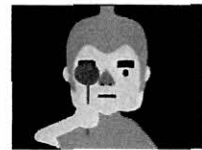
柳 弘子

まあだ、影法師？とあきれられながら影にしがみついて(?) いる私です。
皆さん、大変な闘病をされていますが、あまり大変だと辛いばかり、いや、ふざけているように申し訳ないのですが、自分でも笑えるようなことを仕出かすこと多々あります。
意識しないでやっているから始末が悪い…かも。

白内障で右眼の手術をするので4年前入院しました。
日帰りか？と思いきや4～5日入院です、と言われフ～ンで、1泊でも入院となれば必要なものもかなりありでした。

入院日の夕方、診察室に呼ばれて順番を待って視力検査している人の様子を眺めていました。

そして私の番がきて、看護師さんが「はい、はい、これは？」とお定まりの検査です。「え、か、り…」と答えました。その検査表は仮名文字だったのですが「見えるんですか？」と言われ、しまった！！です。



「いや～実は…さっき横に座って検査を見ていて文字を覚えてしまいました」「ん、まあ」とあきれた看護師さん、カード状の紙を出して「はい、何という字？」「見えません」ずずっと迫ってきてやっと見えたのは30センチくらいまで来た時で、やっとめでたく要手術患者と認められたようでしたが、いや、ふざけたつもりはないのです。

痛い、苦しい、ばかり言っていた時期もありましたが、何かバカらしくて。
だって、笑えることがあるなら笑ったほうが良いでしょう。

眼の手術はこれが初めてで、眼に麻酔の注射というのはどれだけ痛いか(>_<)が心配でしたが、点眼薬での麻酔と聞きホッとしたものです。

手術が終わって病室に戻り「1時間は安静にして動かないで」にハイ、ハイ、と答えまして、そのくらいなら色々と想像を働かせていられるので平気です。
2時間以上経って夕食が運ばれてきて、食べたくもなかったので寝たままでしたら「今晚は札幌祭なのでお赤飯だけど、気分が悪かったら食べないでいる？」と言われ、そのままお膳を下げられそうになったので「食べます！！」と起きて周りがびっくり。
特別お赤飯が好物ではないけど、お祭りのご馳走でしょ。下げるなよ。

半分しか食べられなかったけど、頑張った(?) 思い出です。



クリスマスパーティのお知らせ

1 年がたつのは早いもので、今年もチャリティクリスマス パーティ の時期が近づいてまいりました。

つきましては♪次の通りお知らせいたします♪

日 時 2015 年 12 月 13 日 (日) 14 : 00 ~ 16 : 00 (受付 13 : 30 より)

場 所 札幌サンプラザ

(札幌市北区北 24 条西 5 丁目)

参加費 大人 3,500 円

申し込み 必要 (あすなろ会 電話 011-512-3233 FAX011-512-4807)



♪ 一人でも多くの方達が、この機会にお会いして交流を深め、楽しみませんか。♪
多くの方とお会い出来ることを、楽しみにしています。

(昨年出席して…)



楽しかった！です。他のテーブルともお話したり、一緒に食事してとても親近感が増し、他にも楽しいことが…。

☞そして、この方……昨年はサンタ姿で現れた日本ハムファイターズの BB ちゃんです。

この手でピアノを弾くし (とても上手) 各テーブルを回ってお話して (全身で感情を表すので分る)、勿論しっかりと握手もしました。

今年も来てくれますよ♡

今年も楽しかったチャリティバザー

患者会活動を楽しむ会員

難病センターのバザーは、運営委員会、医療相談会、講演会などの活動資金の為だけではなく、患者会の交流の場となっています。病気だけど皆ができることで力を合わせて疲れないようにできる範囲でワイワイと楽しみながら・・・

悪天候を心配しましたが晴れ間もありのバザー日和の一日となりました。今年は集荷をせずに 持参、宅配にてのお願いでバザーの準備からのチャリティ協力となりました。届いた品数は昨年より少なくなりましたが、あすなろ会担当のバッグ売り場では売り方を工夫して売り上げを減らさず、売り残しを減らすことができました～（さすが！）。開始11時 待っていた100人ほどのお客さんが一斉に入館してセンター内はバーゲン会場のような大混乱！ 事務局の方が交通整理をしていましたが、午後からは落ち着いて売る人も買う人も買い物を楽しむことができました。忙しかったけれど、疲れたけれど、面白くて楽しかった～満足！満足！



（夢中ですね!そこをパチリ(^^)!

翌日の片付けは 昨年より随分少なく洋服、着物も廃棄される事なく必要な所へ。来年も使うハンガー、紙袋、スチール棚などはきちんと保管され手馴れた皆さんの仕事で予定より30分も早く終了することができました。ちょうど雪が降り始め寒い帰り道でしたが、1日だけで品数も減ったにもかかわらず100万円を越す売上げ確保でき みなさんの協力と長い間の経験が実っているんだな～と。

外は寒いけど心はぽかぽかでしたよ～。

患者会活動一人ひとりができる力を少しずつ出し合って おしゃべりしながら楽しんでどんなことしてるの？とのぞきに來て見てくださいね～。

力仕事しなくても売り子さんしなくても、我が家では使わないけどまだ役に立つものが有ったら送っても、見に来て値切って1個でも買ってくれたら協力したことになりますよ～。

来年もご協力宜しくお願い致します♪♪♪



お礼・お知らせ・お願い

◎ お礼

- ・ 10 月末現在で会費は 74 名の方が納入して下さいました。ありがとうございます。
未納の方は どうぞ宜しくお願い致します。
また、振り込み用紙を紛失（うっかりはよくあります）された方はご一報ください。再度お送りいたします。

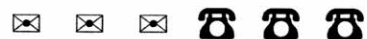
◎ お知らせ

- ・ 7 月 札幌市内 脊髄側わん症 男性
 - ・ 9 月 札幌市内 下垂体前葉機能低下症 女性
- 2 名の方が入会して下さいました。どうぞ宜しくお願いします。

◎ お願い

- ・ JPA 国会請願署名・募金にご協力を お願い致します
今年 1 月に施行された「難病の患者に対する医療等に関する法律」により法的根拠を持つ総合的対策として出発しました。少しずつ施策の改善が始まっていますが、まだまだ多くの課題が山積しています。請願項目を実現させるため皆様のご協力が必要です。お届けした署名用紙にお一人の署名だけでもご家族だけでも自書にて記入の上返送を、切手代他の費用は恐縮ですが自己負担でお願いいたします。（締め切りは 2016 年 1 月末日）
- ・ 今年もお正月飾りの販売を致します。ゆかしい日本の伝統で来る年を祝いましょう。日本製の品です・良いことがある年でありますようにと心を込めて。マンションにも飾れるリース式がありますので難病センターまでお問合せください。

会報についてご意見・ご希望・苦情等何でもお寄せください。難病連センター内あすなろ会宛郵送でも、難病連センターの FAX でも受付できます。
(電話 011-512-3233、FAX011-512-4807)



皆さん 次回にお会いしましょう。

今年も一か月半となりました。—— 信じられない時間の速さですね。

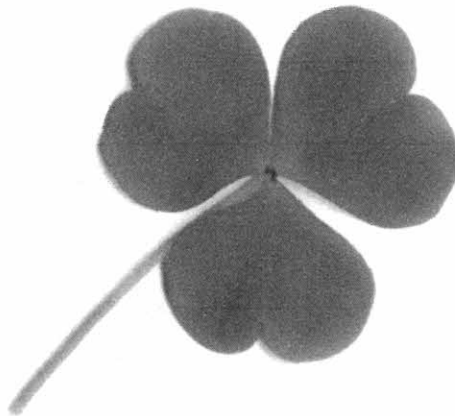
いえ、信じたくない、と言うべきでしょうか。(現実はやさしい)

風邪ひかないで！

食べ過ぎないで！

転ばないで！

その他もろもろ気をつけて！

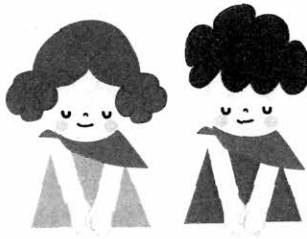


◎ 会費納入のお願い ◎

平成 27 年度「あすなろ会」会費の納入を振り込み用紙にてお願いいたします。

年会費 2,400 円 賛助会費 2,000 円（会員は必要なし）

合わせて北海道難病連「運営協力会」にご加入下さるようお願いいたします。



編集後記

最近、心が暗くなるニュースが多い中、日本人のノーベル賞受賞やラグビーチームの活躍などが報じられ、世界の注目を集めているのはとても嬉しく誇らしいことです。研究や練習が実を結ぶには、揺るぎない信念と地道な努力そして家族の支え、恩師の存在や仲間の協力があつたと聞きましたが、何事にも人と人との出会いやつながりが大切なのだと感じました。

以前に読んだ「鋼の女・最後の^{こぜ}贅女小林ハル」という全盲の女性の生涯を書いた本に「いい人と歩けば祭り、悪い人と歩けば修行」という言葉がありました。

ハルさんは、そう自分に言い聞かせながら地を這うような人生を旅して来たのだと・・・

私も人生を病氣と共に歩むことになり、これもひとつの“修行”かなと思っています。“あすなろ会”に入会し、色々な病氣を抱える方やその家族のみなさんと接することで多くのことを学ばせていただいています。

これからも、日々変わる季節の風を感じながら体調維持に努め、色々なことに興味を持って、人との出会いを大切にしたいと思っています。

菅原幸子

編集人 個人参加難病患者の会「あすなろ会」 あすなろ 157 号

〒064-8506 札幌市中央区南 4 条西 10 丁目 北海道難病センター内

電話 011-512-3233 FAX 011-512-4807

発行人 北海道障害者団体定期刊行物協会 細川久美子

昭和 48 年 1 月 13 日 第三種郵便物認可 HSK 通巻 524 号

2015 年 11 月 10 日発行（毎月 10 日発行）1 部 100 円（会員は会費に含まれる）

本会報の購読に関するお問い合わせは「あすなろ会」までご連絡をお願い致します。